

令和8年10月吉日

関係者各位

しまねリハビリテーションネットワーク

島根県介護支援専門員協会

合同研修会のご案内

拝啓

清秋の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、しまねリハビリテーションネットワーク訪問リハビリテーション委員会と島根県介護支援専門員協会では、「終末期のリハビリテーション～最期まで『その人らしく過ごす』を支えるために～」をテーマに訪問リハビリ実務者研修会を開催する運びとなりました。

本研修会では、終末期におけるリハビリテーションの役割や、リハビリテーション専門職に求められる知識・視点について在宅医療に携わる医師や訪問看護師からお話しいたします。

また、終末期の支援において欠かすことのできない多職種連携について、それぞれの専門職の立場から考えます。「終末期だからリハビリをやめる」のではなく、その人の状態や希望に合わせて、リハビリテーションの目的や関わり方をどのように変えていくのか。本研修会ではこの問いを多職種で共有しこれからの支援について考えます。

さらに後半では、実際に最期までご自宅で生活された方のご家族をお招きし、在宅生活を送る中での経験や思いをお話しいたします。

医療・介護職からの視点だけでなく、ご家族の立場から在宅生活や支援について考えることのできる貴重な機会となっております。リハビリテーション専門職、実際にケアプランを作成される介護支援専門員の方だけでなく、在宅生活に関わる医療・介護の専門職の皆様にも、ぜひご参加いただければ幸いです。

ご多忙中とは存じますが、みなさまお誘い合わせの上、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

テーマ：「終末期のリハビリテーション～最期まで『その人らしく過ごす』を支えるために～」

日時：2026年12月13日（日）10：00～15：00（受付開始9：30～）

会場：寿生病院 6階大会議室（出雲市上塩冶町 2862-1）

対象：しまねリハビリテーションネットワーク会員、島根県介護支援専門員協会会員

終末期に関わる医療・介護専門職、県市町村行政の方

定員：50名

参加費：無料

【研修プログラム】

- ① 在宅医の立場からリハビリテーション専門職に期待すること・必要な事・終末期に対する思いをお話いただきます（れんげ在宅クリニック 院長 花田梢 氏）
- ② 訪問看護の視点から終末期支援とリハビリテーション職へ期待する事をお話いただきます（Grow 訪問看護ステーション 佐藤千晃 氏 角田由美子 氏）
- ③ ご家族・介護支援専門員・リハ職の対話：自宅で介護を経験された思いや在宅生活での困りごとや良かった事などをご家族と担当した介護支援専門員とリハ職で振り返ります）
- ④ グループワーク 終末期を自宅で支えるためにまず自分が明日からできることなどをグループで話し合います

【申し込み方法】

Google フォーム（右記 QR コード）より申し込み下さい



【履修ポイント】

- ・理学療法士協会会員：2-22 チーム医療・多職種連携 5P
- ・作業療法士協会会員：他団体・SIG ポイント(申請ポイント個人申請)
- ・言語聴覚士協会会員：生涯学習ポイント 1P(受講証発行)
- ・島根県介護支援専門員協会会員(介護支援専門員・主任介護支援専門員)

※本研修会は、主任介護支援専門員更新研修の受講要件に該当する研修です

【本件に関する問い合わせ先】

しまねリハビリテーションネットワーク
訪問リハビリ委員会 委員長 青木 徹
TEL 0853-25-0088
E-mail shimaneriha2019@gmail.com